



巨木の森でのんびり散策 「レッドウッド国立州立公園」

アメリカが誇る一番の宝は大自然。世界で最初に国立公園を制定したのも、ここアメリカです。そして広大なカリフォルニアには、これまで長い間人々を魅了し続けてきた国立公園が数多くあります。そびえ立つ巨木、ダイナミックな滝、広大な谷、深い碧色の湖…公園の壮大さと美しさは、常に私たちを感動の空間へと導いてくれます。ここカリフォルニアを代表する国立公園といえば、世界遺産でもある「ヨセミテ国立公園」を思い浮かべる人が多いと思いますが、そのヨセミテと同様に高い評価を受けているのが同じく世界遺産である「レッドウッド国立州立公園」です。特徴的な生態系が評価され、ヨセミテよりも4年早い1980年に世界遺産に登録されました。



©カリフォルニア観光局

公園の概要



レッドウッドの巨木

© Redwood National & State Parks.

カリフォルニア州最北端に位置し、太平洋沿い南北約55km、東京ドームのおよそ9,100倍の広大な面積(425km²)を有する公園内には、レッドウッドの巨木が集まる森が広がっています。

公園の1/3を占めるレッドウッドとはセコイアの一様で、幹が堅く分厚い樹皮が赤くなっていることからその名が付けられました。植物の中では最も大きく、高さ110mを超えるものも。また平均樹齢はおよそ500~700年とされ、中には2000年超の巨木も現存しています。

レッドウッドの巨木は、耐久性がありながら加工しやすい良質な材木として重宝され、19世紀半ばに大量に伐採されてしまいました。特にゴールドラッシュ移住者の住居用に多量の木材を必要としたことで、レッドウッドの森の面積はゴールドラッシュ後に減少し、現在はかつての20分の1の広さとなっています。



レッドウッドの巨木

© Mario Vaden and Redwoods.info

1980年に特徴的な生態系が評価され、また世界的にも貴重な森を保護するため、レッドウッド国立州立公園は世界遺産に登録されました。現在もかつての森の姿を取り戻すべく、植林作業が地道に続けられています。(当初の登録名は「レッドウッド国立公園」、2006年に現在の登録名に変更。)

公園のおすすめポイント

① 世界遺産の原生林を散策

森林浴という言葉があるように、森林の散策には人々を癒す効果があります。ここレッドウッド国立州立公園には、アメリカ本土のみならず世界各国から癒しを求めてたくさんの人が訪れます。園内の敷地には歩くための専用の小道 (trail) が整備されているので、ご年配の方やお子様も安心して散策できます。



森には歩くための専用の小道(trail)が整備されている

© California Travel and Tourism Commission / Blaise



© Redwood National & State Parks.



© Redwood National & State Parks.



© Redwood National & State Parks.

トールツリー・グローブ入口 レディ・バード・ジョンソン・グローブ

なお高さが100mを超える樹木は敷地の南側に集中しており、中でも「レディ・バード・ジョンソン・グローブ」(Lady Bird Johnson Grove)が特に人気です。また世界で最も背が高い木はトールツリー・グローブ (Tall Trees Grove)にある115mのレッドウッドで、こちらも一見の価値ありです。

公園のおすすめポイント



©Redwood National & State Parks.
海岸線沿いのウォーキングコース



©Redwood National & State Parks.
海岸線沿いのドライブルートからの眺め

② 太平洋の海岸線で絶景を堪能

公園内の見どころとして挙げられるのが、海岸沿いの眺め。ウォーキングのみならずドライブもおすすめです。

海岸線には初級者から上級者まで楽しめるウォーキングコースが設けられているので、森林浴に飽きたら海岸線をのんびり歩いてみるのもよいでしょう。なお季節によっては太平洋を優雅に泳ぐクジラの姿を目にすることも。(主に11～12月・3～4月)

一方、海岸沿いには数々の絶景ドライブルートがありますが、中でもおすすめはコースタル・ドライブ (Coastal Drive) です。断崖絶壁の上から太平洋を見下ろすことのできる片道1時間のドライブルートをお楽しみください。特におすすめの時間帯は夕方。赤い夕日に染まる太平洋は圧巻です。その他、海岸線ではありませんが、ルーズベルトエルク等の野生動物が生息する大草原 エルク・メドウ (Elk Meadow) から北へ向かう16kmの「レッドウッド・シーニック・パークウェイ」(正式名称: Newton B Drury Scenic Parkway)もレッドウッドを満喫ルートできるおすすめドライブルートの一つです。



© California Travel and Tourism Commission / Blaise
レッドウッド・シーニック・パークウェイ

③ 動物好きにはたまらない… 野生動物の宝庫

この公園の森の中には体長5cm前後の小さなトガリネズミから体重500kgを優に超えるアメリカグマ、そして森の住人の代表格ともいえるフクロウ等々、数多くの野生動物たちが昔からこの場所に住んでいます。

大草原にはルーズベルトエルク(アメリカアカシカ)やマウンテンライオン、空にはハクトウワシやハゲタカ、そして海岸線にはクジラやアザラシ、ペリカンなども。ここでは、数多くの野生動物たちに出会えるチャンスがあります。



© Mario Vaden and Redwoods.info
ルーズベルトエルク(アメリカアカシカ)



© Mario Vaden and Redwoods.info



© Redwood National & State Parks

霧が発生する時期の森はとても神秘的

④ 霧に包まれた神秘的な森は、まさに「パワースポット」

ここレッドウッド国立州立公園は標高が高く、また太平洋からの湿った空気により、毎年6～9月の時期は霧深くなることで知られています。この季節の森は、とても神秘的で美しくなります。多くのナチュラルリストが「神の聖堂」として崇めるレッドウッドの森は、まさに人知れぬ「パワースポット」と言えるでしょう。



© California Travel and Tourism Commission / Andreas Flub

ユリーカの町

アクセス

カリフォルニアとオレゴンの州境にあり、最も近い国際空港がある都市はサンフランシスコで、ここから国道101号線を北上して約6時間で公園の南端に近いユリーカ (Eureka) に到着。ここから公園の南のゲートウェイとなる町 オーリック (Orick) までは車で約35分かかります。なお時間に余裕のない人は、サンフランシスコからユリーカもしくは公園北部のゲートウェイ、クレセント・シティまで飛行機を利用するのがよいでしょう。

その他情報

- **ベストシーズン**：四季折々の魅力をお楽しみいただけますが、幻想的な霧に覆われた世界遺産の森を満喫したい方には、特に6月から9月をおすすめします。
 - **主なアクティビティ**：なんととっても巨大な木を見上げながら、森の中をハイキングするのが一番。地図や標識に従ってトレイルを歩いてもいいですが、レンジャープログラムに参加して、詳しい説明を聞きながら歩くのも楽しいでしょう。レンジャープログラムの情報はビジターセンターで入手可能です。
- ※ **ビジターセンター**…クレセント・シティ・インフォメーション・センター (Crescent City Information Center)
住所: 1111 Second Street, Crescent City 電話: (707) 465-7306
開館時間: 3～10月 9:00～17:00、11～2月 9:00～16:00 (休業: 11月第4木曜、12/25、1/01)
- クレセント・シティのダウントウンにあるインフォメーションセンター。
 - その他にもハイウェイ沿い等に4軒のビジターセンターがあります。
- **入園**…開園時間: 365日/24時間開園 入園料: 無料
 - **その他**…夏でも平均気温は15度前後。トレイルを歩く予定であれば、服装や雨具などの準備を忘れずに。

詳細 公式サイト URL <http://www.redwoods.info/>、<http://www.nps.gov/redw/>



© Redwood National & State Parks.